

IP Messenger for MacOS X Read Me

2009.12, v0.9.0+



【ご注意ください】

このバージョンは Mac OS X 10.2 Jaguar および Mac OS X 10.3 Panther 用最終版です。
今後バージョンアップの予定はありません。

1. 概要

- IP Messenger for MacOS X は UDP/IP を使用した簡易メッセージングソフトウェアです。
- サーバを必要とせず、ローカルエリアネットワーク内の動的なユーザ認識を行うことができます。
- オリジナルは白水啓章氏作の Windows 版であり、本ソフトウェアはその MacOS X 版です。
Windows 版は以下で公開されています。

IP Messenger 研究開発室 (<http://ipmsg.org/index.html.ja>)

- Windows 版以外に、MacOS (Classic) 版、Java 版、X11R6 版など各種プラットフォームに移植されており、お互いにメッセージをやりとりすることができます。

2. 使用上の注意

- IP Messenger for MacOS X は実行ファイル/ソースコード共に永久にフリーソフトウェアです。
- アーカイブの転載・再配布は自由です。
- 本ソフトウェアの使用による、いかなる損害についても作者は責任を負いません。
- 著作権は作者 (G.Ishiwata) に帰属します。
- ライセンス条件は 「4. ライセンス条件」 を参照ください。

3. 動作環境

- Mac OS X v10.2.x Jaguar または Mac OS X 10.3.x Panther
- 上記 OS が動作する Macintosh コンピュータ (PowerPC 搭載機用)
- ローカルエリアネットワークに接続可能であること

4. ライセンス条件

本ソフトウェアは、修正 BSD ライセンスにてライセンスされます。

Copyright (c) 2001-2009, G.Ishiwata

All rights reserved.

ソースコード形式かバイナリ形式か、変更するかしないかを問わず、以下の条件を満たす場合に限り、再頒布および使用が許可されます。

- ・ソースコードを再頒布する場合、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記免責条項を含めること。
- ・バイナリ形式で再頒布する場合、頒布物に付属のドキュメント等の資料に、上記の著作権表示、本条件一覧、および下記免責条項を含めること。
- ・書面による特別の許可なしに、本ソフトウェアから派生した製品の宣伝または販売促進に、G.Ishiwata の名前またはコントリビューターの名前を使用してはならない。

本ソフトウェアは、著作権者およびコントリビューターによって「現状のまま」提供されており、明示黙示を問わず、商業的な使用可能性、および特定の目的に対する適合性に関する暗黙の保証も含め、またそれに限定されない、いかなる保証也没有。著作権者もコントリビューターも、事由のいかんを問わず、損害発生の原因いかんを問わず、かつ責任の根拠が契約であるか厳格責任であるか（過失その他の）不法行為であるかを問わず、仮にそのような損害が発生する可能性を知らされていたとしても、本ソフトウェアの使用によって発生した（代替品または代用サービスの調達、使用の喪失、データの喪失、利益の喪失、業務の中断も含め、またそれに限定されない）直接損害、間接損害、偶発的な損害、特別損害、懲罰的損害、または結果損害について、一切責任を負わないものとします。

5. インストール

- ・.dmgファイルをダブルクリックするとボリュームがマウントされます。
- ・ディスクイメージに含まれるアプリケーションを任意のフォルダへコピーして下さい。
(Applications フォルダを推奨)

6. アップグレード

- ・すでに旧バージョンを利用している場合には、旧バージョンの IP Messenger を終了してから上書きし、起動してください。

7. アンインストール

- ・アプリケーションを終了し、実行ファイルを削除してください。
- ・完全にアンインストールするためには、あわせて以下のファイルを削除してください。
~/Library/Preferences/IPMessenger.plist

8. 使用方法

基本的な操作方法のみ説明します。

8.1 メッセージ送信

新規メッセージウィンドウを開くには、メッセージメニューから新規メッセージを選択します。環境設定で設定すると、Dock アイコンのクリックで新規ウィンドウを開くことも可能です。

メッセージを入力し、送信先ユーザを選択して送信ボタンを押すと、送信されます。

ファイルまたはフォルダを添付するためには、Finder からメッセージ入力エリアにドラッグ&ドロップします。または、送信ウィンドウの添付 Drawer 開閉ボタンを押して添付 Drawer を表示し、追加ボタンを押してファイルまたはフォルダを選択することもできます。

なお、ユーザリストに表示されているユーザで左側にクリップのアイコンのあるユーザが、添付ファイルを受信することができます。

8.2 メッセージ受信

メッセージを受信すると、受信ウィンドウがポップアップします。

環境設定でノンポップアップ受信が指定されている場合は、Dock アイコンが点滅しますので、Dock アイコンをクリックすると、受信ウィンドウが開きます。

添付ファイルがある場合、受信時に添付 Drawer が開きますので、ダウンロードボタンを押して保存先を指定し、添付ファイルを取り出すことができます。

8.3 不在モード

不在モードを設定するには、不在メニューから選択します。Dock アイコンが変化し、不在モードであることを表します。

不在モードを設定すると、メッセージ受信時に送信元に自動応答メッセージを送信します。

8.4 環境設定

アプリケーションメニューから環境設定を選択すると環境設定パネルが開き、各種設定項目を変更することができます。

9. サポート

以下の URL にて最新版の実行ファイル／ソースコードを公開しています。

<http://ishwt.net/software/ipmsg/>

バグ報告、改善要望、質問などは上記サイトの問い合わせフォームよりお願いします。